

外国文献講読（法・英）II-E1(2)

【成績評価の方法・観点】

期末試験：70%

平常点（担当回での和訳提出の有無・時期・内容、教室での質疑への対応状況を考慮要素とする。担当回以外では、教室での議論への参加状況を考慮する。）：30%

【教科書】

Mark Tushnet 『Advanced Introduction to Freedom of Expression』（Elger, 2018）ISBN:978-1-78643-715-0

授業で扱う部分を電子化し、授業資料として事前に配付する。

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

和訳は、日本語の文章として意を尽くしたものとなるよう、努力を怠らないこと。

【その他（オフィスアワー等）】

和訳のやりとりのため、電子メール（携帯メールは不可）を使えることが望ましい。

この科目は法学部生を対象に開講される科目です。履修人数に余裕があれば、法学部以外の学生も履修することが可能ですが、法学部事務室で事前申込が必要です。詳細は履修（人数）制限に関するお知らせで確認してください。